

HP 冬の災害に備えて

冬の「厳しい寒さ」から身を守るためには、他の季節とは違った防災対策が必要となります。冬の災害を想定して、市民一人ひとりが自らの命を守る備えを確認しましょう。

家の中で安全に過ごすために

冬の災害時は停電により、普段家庭で使用している暖房器具が使えなくなることが考えられます。そのため、寒さをしのぐ準備が重要です。

- ・食料や飲料水など、季節を問わずに必要な備えに加え、停電時にも使用可能なポータブルストーブや防寒具などを用意しましょう。
- ・体を温めるには、温かい食事をとることも大切です。電気やガスが使えない時には、カセットコンロが役立ちますので、燃料のボンベを夏より多めに用意しましょう。

【冬の必需品】

- 防寒具（ジャンパー・スノーウェア・帽子・手袋など）
- 衣類（厚手の長袖・長ズボン・靴下・肌着）
- 毛布・寝袋
- カイロ
- カセットボンベ など



【季節を問わず必要なもの】

- 食料・飲料水
- 持病薬・常備薬
- 携帯用ラジオ
- 懐中電灯（電池）
- 携帯電話充電器・予備バッテリー
- 衛生用品（マスク・アルコール消毒液・体温計） など



HP

やむを得ず車で外出するときは

冬期間は、天気が急変し車が立ち往生する可能性があります。防寒着、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープなどを車に用意するとともに、万一に備えて、飲料水や非常食も用意しておくことで安心です。

また、雪でマフラーがふさがれると排気ガスが車内に充満し、一酸化炭素中毒となる危険性がありますので、注意が必要です。



市民一人ひとりの防災意識の向上を目指して

災害が発生したときに、「自分の身は自分で守る」ためには、平日頃から意識を高め、平常時から準備しておくこと、とっさの際の行動や心構えについてなど、積極的に知識を得る必要があります。

下記のHP「冬の災害に備えて」を参考に、万全な対策を心がけましょう。

HP <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2018122800031/>

お問合せ 災害対策課 ☎21-3648

1月号は12月30日(金)までに配布します



人口と世帯

世帯数	140,326世帯 (67減)
人口	総数 245,006人 (207減)
	男性 111,518人 (88減)
	女性 133,488人 (119減)
	令和4年10月末現在
	() 内は前月比

しょうがいしゃ さべつかいしょうほう 障害者差別解消法 って何？

この法律は、すべての人が障がいのあるなしにかかわらず、お互いに人格と個性を尊重しながら共生できる社会をつくるための法律です。

障がいがある人から、手助けや支援者の同席など、「合理的配慮の提供」を求められた場合、公的機関は応じる義務が、民間事業者には応じる努力をする義務があります。

「合理的配慮の提供」については昨年5月の法改正により、今後、民間事業者にも義務として求められることとなります。

お問合せ

- ▷障がい保健福祉課 ☎21-3263 FAX27-2770
- ▷亀田福祉課 ☎45-5482 FAX45-5486



町会・自治会に加入しましょう

子どもたち 地域で守り 育む未来

電気代・ガス代がオトクになる！ECOガス+C REMO コレモ ガスマイホーム発電

北ガスのコレモは、環境にも家計にも優しく、さらに自宅で発電するから停電時も安心！お気軽にご相談ください！

函館の新築戸建住宅の **3軒に1軒以上** でご採用いただいています！※当社都市ガスをご採用の新築住宅

コレモにするだけでCO₂を年間1.4トン以上削減
北海道の世帯当たり年間CO₂排出量※の29%相当
※令和2年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査結果の概要（速報値）より

詳しくはWEBで！

お問い合わせはこちらまで 北海道ガス株式会社 函館支店営業グループ **0138-86-7101** 函館市万代町8番1号 平日9:00~17:00 (土日祝日は休み)

